

『製造業のDX』研修体系ご紹介

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、“顧客起点の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革であるのに対し、デジタイゼーションは、“個別の業務・製造プロセス”をデジタル化することです。モノづくり事業部門のDXを進める人財や関わる組織・人たちに必要なリテラシーからエンジニアリング・オペレーションの高度化、およびプロダクトのコネクテッド化まで有用な知識・スキルを学べる「製造業のDX」として研修を体系化しました。人財育成に必要なコースの選定に、是非、本研修体系をご活用ください。

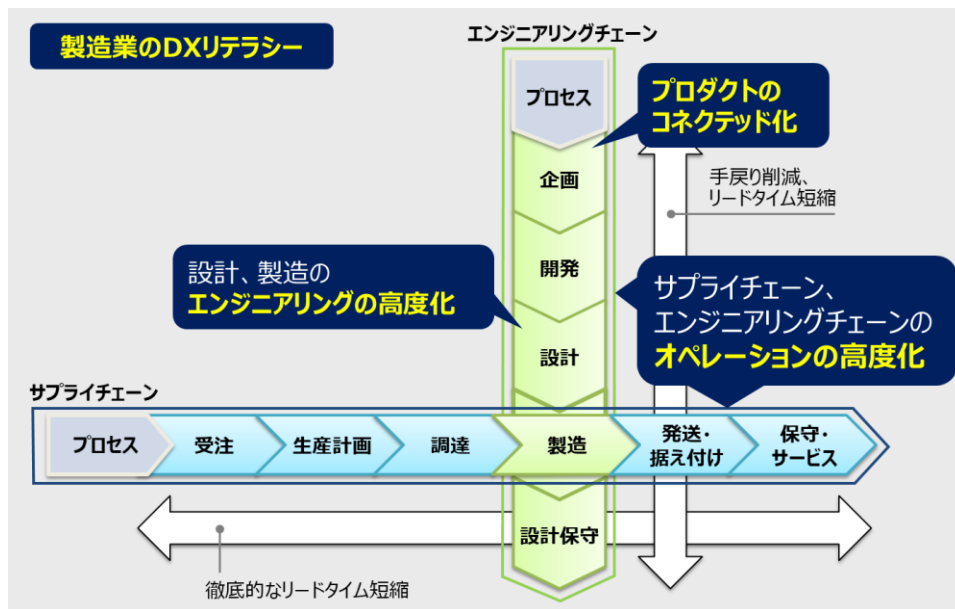


図1. 変革の対象とカテゴリー

表1. 「製造業のDX」研修体系のカテゴリー

#	カテゴリー	説明	主な対象者
1	製造業のDXリテラシー	DX推進のベースとなる知識・スキル	製造業のDXに関わる方
2	エンジニアリングの高度化	デジタルツインにより高度な設計・開発・製造を実現するための知識・スキル	設計、製造に関わる方
3	オペレーションの高度化	サプライチェーン、エンジニアリングチェーンの実行・管理をデジタル化により変革するための知識・スキル	生産管理、品質管理に関わる方
4	プロダクトのコネクテッド化	コネクテッド化によりプロダクトの高付加価値化するための知識・スキル	プロダクトの企画、開発、設計に関わる方

表2. 学習の目安 (レベルの定義)

レベル	定義
1	・デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方
2	・デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方 ・お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方
3	・事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方 ・DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化した方

カテゴリ1 製造業のDXリテラシー

モノづくり現場のDX推進に必要な基礎知識を学ぶ

レベル1	レベル2	
<p>23上リリース</p> <p>HSV241 VCR 0.5日</p> <p>製造業のDX基礎 -スマートファクトリーへの第一歩-</p>		
<p>IOE004 e-Learning 6時間</p> <p><eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説</p>		
<p>IOV001 VCR 0.5日</p> <p>IoT概説 【バーチャル・クラスルーム】</p>	<p>IOV023 VCR 0.5日</p> <p>IoT技術解説 -最新技術動向・適用事例編- 【バーチャル・クラスルーム】</p>	<p>IOE007 e-Learning 2.5時間</p> <p><eラーニング> IoT技術解説 5G編</p>
<p>IOE011 e-Learning 2時間</p> <p><eラーニング> コトづくり現場における IoT無線ネットワークの要点と選び方</p>	<p>IOE008 e-Learning 3時間</p> <p><eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編</p>	<p>IOE009 e-Learning 3時間</p> <p><eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編</p>
<p>SPV080 VCR 1日</p> <p>やってみようDX -ローコードプログラミングによる業務のDX- 【バーチャル・クラスルーム】</p>	<p>23上改訂</p> <p>RPV021 VCR 1日</p> <p>Power Platform入門 (Power Automate DesktopによるRPA活用編) 【バーチャル・クラスルーム】</p>	<p>RPV020 VCR 1日</p> <p>Power Platform入門 (Power Appsによるローコードアプリ活用編) 【バーチャル・クラスルーム】</p>
<p>DBV137 VCR 1日</p> <p>プログラミング活用術 -面倒な定型業務はPythonで自動化しよう- 【バーチャル・クラスルーム】</p>		
<p>AIE004 e-Learning 20時間</p> <p><eラーニング> AIリテラシー -AI技術の概要と活用事例-</p>		
<p>AIE008 e-Learning 6時間</p> <p><eラーニング> AI・データサイエンス基礎</p>		
<p>HSE134 e-Learning 3時間</p> <p><eラーニング> サプライチェーンマネジメント (SCM) 基礎-世界標準の知見に 基づいた戦略的SCMの実現へ向けて-</p>		

カテゴリ2 エンジニアリングの高度化

デジタルにより設計・開発・製造を高度化・効率化するための知識・スキルを学ぶ

レベル1	レベル2	レベル3
<p>OTV012 VCR 0.5日</p> <p>伝熱工学 + CAE解析 + 機械学習の 取り入れた最適化技術 【バーチャル・クラスルーム】</p>		

カテゴリ3 オペレーションの高度化

サプライチェーンやエンジニアリングチェーンにおけるオペレーションをデジタル化により変革するための知識・スキルを学ぶ

レベル1	レベル2	レベル3
<p>23上リリース</p> <p>DBV144 VCR 1日</p> <p>数理最適化における定式化の基礎 -顧客課題を数式で表す- 【バーチャル・クラスルーム】</p>	<p>DBE049 e-Learning 9時間</p> <p><eラーニング> 機械学習 基礎知識編 -初めてでもOK! データ分析を身近に-</p>	<p>DBV120 VCR 2日</p> <p>機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 -製造物の種類判別と生産設備の故障予兆- 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>DBV133 VCR 1日</p> <p>NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース AIを応用した予知保全 【バーチャル・クラスルーム】</p>

カテゴリ4 プロダクトのコネクテッド化

コネクテッド化によりプロダクトの高付加価値化するための知識・スキルを学ぶ

レベル1	レベル2	レベル3
	<p>HSV207 VCR 2日</p> <p>協創型イノベーション開発手法 (モノとコトを結び新たな顧客価値を創出する) 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>IDV001 VCR 1日</p> <p>(PDU) IoTコンセプトデザイン -IoTビジネスの理解と 自社の新しいIoTサービスを創出する-</p>	<p>23上休講</p> <p>HSJ208 集合研修 3日</p> <p>モノづくり事業をベースとした 高収益サービスの創生法 -Product-Service Systems (PSS) -</p>

※ Power Platformは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

※ NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※ Pythonは、Python Software Foundationの登録商標です。

※ 本リーフレットに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

※ 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、不明な点は、当社営業担当までお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

株式会社 日立アカデミー

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD館
TEL 03-5471-8960 <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立 研修

